

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市嵐山東) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶指導 ・手洗い、うがい、消毒の徹底 ・出欠確認の徹底 ・下館指導 ・整理整頓、ロッカー下駄箱掃除 ・衣類調整指導 ・昼食後の休憩時間 (長期休業中) ・学習支援・宿題の取組 ・おやつ時間 ・帰りの会 ・集団下館 ・お迎えの時間 ・グループ活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が積極的に行うことで習慣付いてきている。引き続き声かけをするとともに、3年生が声掛けできるよう援助していく。 ・職員が毎日、帰館後すぐに検温手洗い消毒の声掛けを行うことで習慣付いてきている。 ・ハンカチ持参についてもおたよりでの周知等で増えている。引き続き周知徹底していく。 ・年度初めに出入確認書を配布し、日々連絡帳を活用しながら出入変更把握に努めた。夏休み明けごろから日々の欠席体会児童が増えてきた。 ・次年度も出入確認の把握徹底と職員間の連携を密にし、安全確認に努める。 ・年度初めに職員が各方面について帰るだけでなく、毎日かつ安全情報に基づいて行った。日没が早い時期はおたよりでの周知等安全確認に努めた。 ・また、子どもだけでなく保護者の理解を促し、家庭でも安全面の話ができるようおたよりや懇談会での周知を行った。 ・月に1回程度、子ども自身が使っているロッカーのそうじと整理整頓を行った。引き続き、定期的に掃除を行い物を大切にすることを促すよう援助する。 ・年度初めや季節の変わり目などに着替えの持参をおたよりや懇談会で保護者へ周知した。また、子どもたちにも着替えの持参と衣類の調整指導を行った。 ・次年度も習慣付くよう天候、体調管理に気を付けていく。 ・以前より、学校休業中や土曜日は昼食後、葎田を休める時間として休憩時間を設定している。今後も体を休める時間として、子どもの体調管理に努める。 ・以前より、「1年生は宿題をしてから遊ぶ」とし帰館後の学習が習慣付くよう指導している。2年生以上も習慣付いているので、引き続き行う。 ・感染症拡大防止の観点から、一定の間隔をあげ、配膳方法を工夫し、黙食を心掛けた。引き続き感染症拡大防止に努める。 ・引き続き、量や衛生面に気を付け、アレルギー対応についても把握、配慮の徹底を行う。 ・明日の予定や必要事項を伝えるなど、今後の見通しが持てるよう話をし、子どもたち安心して児童館を利用できるよう努めている。 ・次年度以降も子どもたちの安心につながるよう工夫していく。また、しっかり話が聞けるような配慮をする。 ・年度初めの約1週間は職員がついて帰り、帰り道の安全確認に努めた。トラブル発生時は、その都度指導を行い下館指導を行う等安全確認に努めた。 ・今後も定期的の下館指導を行い家庭でも子どもと安全確認の話ができるよう保護者と連携していく。 ・育成室で静かに過ごし落ち着いて帰宅できるような時間としている。宿題や座って過ごせる玩具や本を増やすなど環境を整えることで落ち着いて帰ることができている。 ・感染症拡大防止の為、グループでの活動は自粛した。次年度より感染防止対策を取った上で掃除やおやつ配膳当番等を始めていきたい。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊び ・当番活動 ・生き物の飼育 ・誕生会 ・敬老ふれあい会 ・3年生会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士で話し合っ遊びを決めるなど、相手の立場を考える様子も見られた。子どものやりたいことができる居場所作りを考えていく上でも小学校運動場で遊べるよう学校と連携をとり、安心安全な遊び場の確保と充実を図っていく。 ・おやつ挨拶、片付けと帰りの会の司会進行を毎日の当番活動として行った。学童クラブの一員としての役割と責任を感じられる機会となっている。 ・引き続き、子どもたちの負担にならないよう配慮しながら取り組んでいく。 ・熱帯魚のエサやりを通して生き物に興味を持つ姿が見られる。今後も生き物の大切さを知る機会としてエサやりや花壇の水やりを中心に子どもたちが生き物に触れる機会を作っていく。 ・感染症拡大防止を取った上で時間短縮で行った。今年度からは学童児童みんなでお祝いすることができ、子どもたちも嬉しさと期待をもって参加できていた。また3年生が中心となり、みんな遊びを実施する中でリーダーとしての自覚と責任を持てる機会となった。 ・感染症蔓延防止の為、中止。日頃の感謝を込めて子どもたちが作った手紙げバックをプレゼントした。 ・学童クラブが楽しい場所になるよう誕生会の企画や遊びの企画をするなどの取組を実施した。引き続き3年生リーダーとして自覚と責任が芽生えるよう援助していく。今後も、子どもたちの意思を尊重しながら企画内容など考えていく。 ・自分で頑張ると決めた種目を選択し、夏休みを中心に練習を行い、保護者の前で遊びの発表をした。友だちと一緒に取り組むことで楽しみながら上達でき子どもたちの成長につながる良い機会となった。 ・役割分担をして全館の掃除をした。「自分たちの児童館」という思いが持てるよう工夫しながら、今後も続けていく。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ遊びの発表会 ・年末の大掃除 ・入会式 ・修了式 ・学童クラブだより、各種お知らせ発行 ・さくらdaysの活用 ・保護者懇談会 (7月・12月) ・個人懇談 (7月・12月) ・学童クラブ登録説明会 ・学童クラブ入会説明会 ・小学校や関係機関との連携 ・連絡アプリ「さくらdays」の活用 ・児童館まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの前で自己紹介や児童館での遊びの紹介を行うことで、学童クラブの一員としての意識付けと共に、仲間意識が持てる機会となった。 ・1年の締めくくりとして全員で式を行った。3年生のお別れの言葉では緊張感をもって進められた。 ・児童館事業を保護者にも知ってもらい機会となっている。引き続きより見やすく充実した内容にしていこう。 ・家庭との連携のひとつとして活用してきた。次年度よりICT導入に伴いアプリ上のメール機能で連携を取っていく。いつでも直接保護者と連絡が取れるので効率化していく。 ・1年生を中心に夏休みの懇談会を行った。また、必要に応じて個別懇談を行った。児童館での様子を伝えることで保護者の安心につながる良い機会となった。 ・保護者との情報交換ができる良い機会であり、児童館での子ども様子を伝えることで保護者の安心につながっている。今後も保護者がより安心できる対応と説明を行う。 ・感染症拡大防止の為、時間を短縮しつつ変更点やICT導入に伴う申請方法の説明、児童館の状況や生活を伝えた。 ・感染症拡大防止の為、時間を短縮しつつ変更点やICT導入に伴う説明、緊急時児童引渡時の対応、出入確認方法など大きく変わる部分を中心に伝えた。今後も保護者がより安心できる対応と説明を行う。 ・子どもの様子についての情報交換や体育館、運動場使用など、連携が取れてきている。今後も連携を密にし、保護者の安心安全につなげていく。 ・引き続き、小学校との情報交換を続け、関係を深めていく。 ・緊急時などに「連絡ナビ」を活用し、学童情事についての発信をした。次年度以降は連絡アプリ「さくらdays」に移行し、活用していく。 ・感染症拡大防止の為、人数制限を取り遊びのコーナーを中心に地域の協力のもと行った。地域の方も積極的に参加され交流にもつながった。

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市嵐山東) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人				
(1) 生活援助機能																
・挨拶指導	毎日															
・手洗い、消毒の徹底	毎日															
・学習支援、宿題の取組	毎日															
・下館指導	毎日															
・大掃除 (館内清掃)	2	34	21	24	9	2	5							95	年末と年度末に学童全員で児童館を掃除する。	
・当番活動	毎日															
・入館式(1,3年)	1	17		15	8						17		3	60	小学校入学式の午後、新入生をお迎えして始まりの式を行う。	
・新入生歓迎会	1	25	18	19	9	1	3							75	新入生と継続学童で自己紹介をして、出し物などを楽しむ。	
・おそうじデー	12	242	173	152	78	9	10							664	毎月一回、自分のロッカーの掃除をする。	
・誕生会	12	308	215	185	95	11	16	11						841	毎月一回、お誕生日の子どもをお祝いし集団遊びを楽しむ。	
・3年生会議	22			265										265	ジュニアボランティアとして学童行事のお手伝いを考える会議。	
・3年生企画 (ハロウィン・豆まき)	2	46	33	27	13	2		4						130	3年生会議でやりたい企画を相談し実施した。	
・学童セーフティ	1	25	19	15	10	1	1							71	新入生が慣れたところに、交通安全のお話と下館指導をする。	
・発表会練習	7月~9月	108	80	82	32	3	0	1						306	発表会へ向けて見通しを持たせるため実施。	
・遊びの発表会&交流会	1	26	16	17	8			8						192	親子で児童館の遊びを楽しみ、ステージ発表を観覧する。	
・ウォーターバトル	1	23	14	17	7	1	3							65	夏休みに水鉄砲で水遊びを楽しむ。	
・そとあそび	6	19	41	34	6	1	3							104	小学校グラウンドや嵐山東公園河川敷で遊ぶ	
・敬老会プレゼント渡し	1	5	6	6	2	0	2							21	3年生がプレゼントを作って、社協事業の際に渡す	
・いもほり	1	25	1	4										30	学童のおやつ焼き芋のため、代表の1年生がいもを掘りに行く	
・初詣	1													0	年の初めに児童館の1年の幸を願い初詣に行く。	
・修了制作	7	25	18	14	7	1	2							67	学童の思い出としてフォトプレートを作成する	
・修了式	1	26	18	16	5	1	3							69	学童の1年間のしめくくりの式を行う。	
・お別れ遠足	1	20	12	14	5		3							54	3年生が希望した梅小路公園へ遠足に行く。	
(3) 子育て支援機能																
・学童だより発行	12															
・各種お知らせ発行	随時															
・お弁当いらないデー	2	47	35	34	11	2	7							136	みんなで同じお弁当を楽しむ。	
・個人懇談会	5												5	5	児童館での子ども様子について親と共有する。	
・保護者懇談会(7月)	1	6		2		1							35	44	夏休みの生活や1学期の様子を親と共有する。	
・新年度登録説明会	2												25	25	新入生向けに、学童登録の方法や学童生活について説明する。	
・新年度入会説明会	2	5	3	1									38	47	次年度の学童クラブについて説明をする。	
・巡回相談	1	2	2	1	0	1	0							6	6	困りのある子どもの様子について、専門家に見ていただく。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること